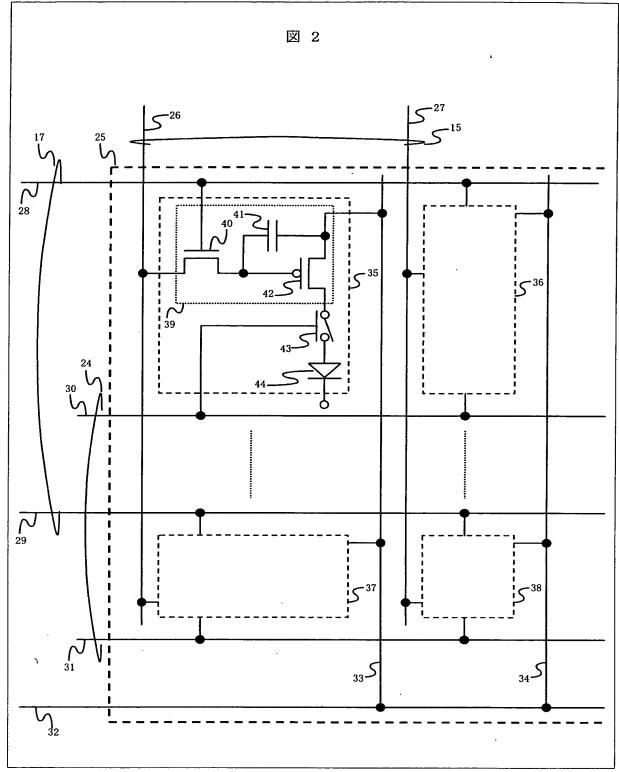


- 1. 発明の特徴を最も良く表す図を図1とする。
- 3. 中心線は記入しない。
- 4. 符号(アラビア数字)は引出線を引いて記入する。
- 5. 符号は〇枠で囲まない。また符号はできるだけ大きくする。
- 6. 同一部分が2以上の図にある時は、同一の符号を各図に付ける。
- 7. 図面は上記枠内((縦) 2 1 5 mm×(模) 1 4 8 mm)に納める。
- 8. 図1、図2などの表示は図の上側中央部に入れる。

- 9. 枠内に二つ以上の図を入れるときは縦方向に分け、各図面の間を20mmはなすこと。
- 2. 各図ごとに、図の上側に図1、図2のように連续番号を付し、番号順に配列する。 10. 図面は電子出顧端末のイメージリーダ(200dpt)で読み込まれるため次の点に配慮する。
 - a. 図面中の文字、符号はできるだけ大きく(12ポイント程度以上)する。
 - b. 断面を示す部分には、ハッチングを施す。 **盗**りつぶしてはならない。
 - 11. 図面はA4サイズの用紙に縦長にプリントする。
 - 12. 表、数式も上記に準じて作成する。

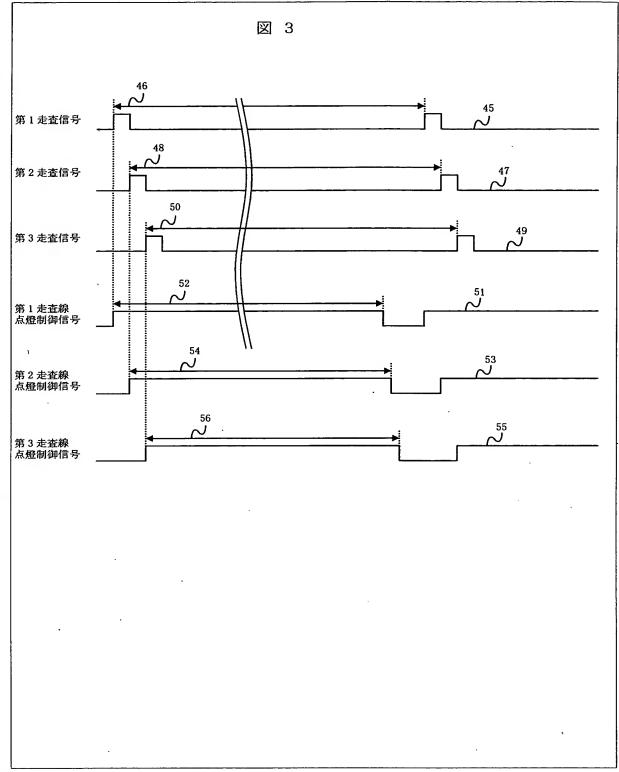
電子出願図面用紙 for windows



- 1. 発明の特徴を最も良く表す図を図1とする。
- 3. 中心線は記入しない。
- 4. 符号(アラビア数字)は引出線を引いて記入する。
- 5. 符号は〇枠で囲まない。また符号はできるだけ大きくする。
- 6. 同一部分が2以上の図にある時は、同一の符号を各図に付ける。
- 7. 図面は上記枠内((縦) 2 1 5 mm×(機) 1 4 8 mm) に納める。
- 8. 図1、図2などの表示は図の上側中央部に入れる。

- 9. 枠内に二つ以上の図を入れるときは成方向に分け、各図面の間を20mmはなすこと。
- 2. 各図ごとに、図の上側に図1、図2のように連続番号を付し、番号順に配列する。 10. 図面は電子出順端末のイメージリーダ(200dpt)で読み込まれるため次の点に配慮する。
 - a. 図面中の文字、符号はできるだけ大きく(12ポイント程度以上)する。
 - b. 断面を示す部分には、ハッチングを施す。強りつぶしてはならない。
 - 11. 図面はA4サイズの用紙に縦長にプリントする。
 - 12. 表、数式も上記に準じて作成する。

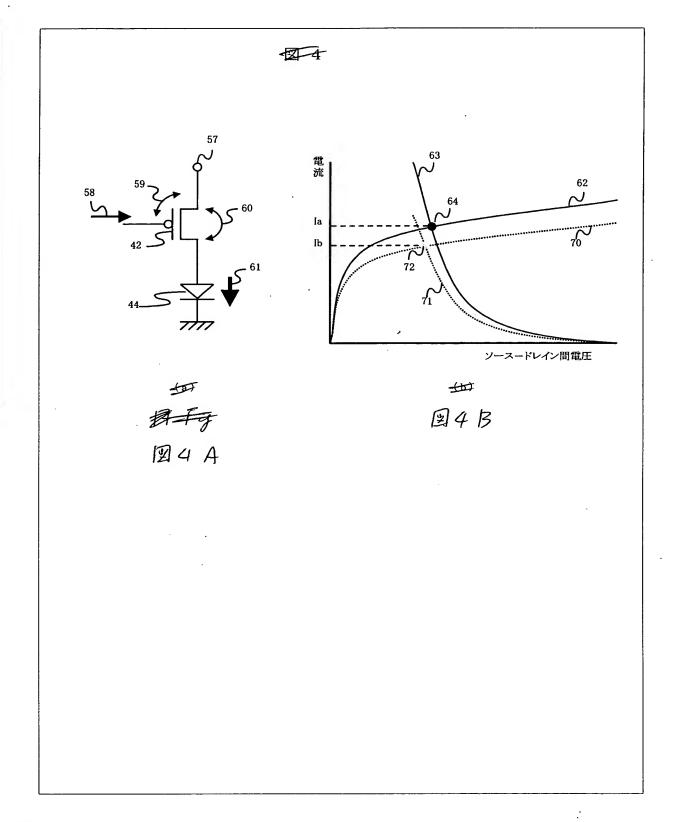
for windows



- 1. 発明の特徴を最も良く表す図を図1とする。
- 3. 中心線は記入しない。
- 4. 符号(アラピア数字)は引出線を引いて記入する。
- 5. 符号は〇枠で囲まない。また符号はできるだけ大きくする。
- 6. 同一部分が2以上の図にある時は、同一の符号を各図に付ける。
- 7. 図面は上記枠内((QQ) 2 1 5 mm×(模) 1 4 8 mm) に納める。
- 8. 図1、図2などの表示は図の上側中央部に入れる。

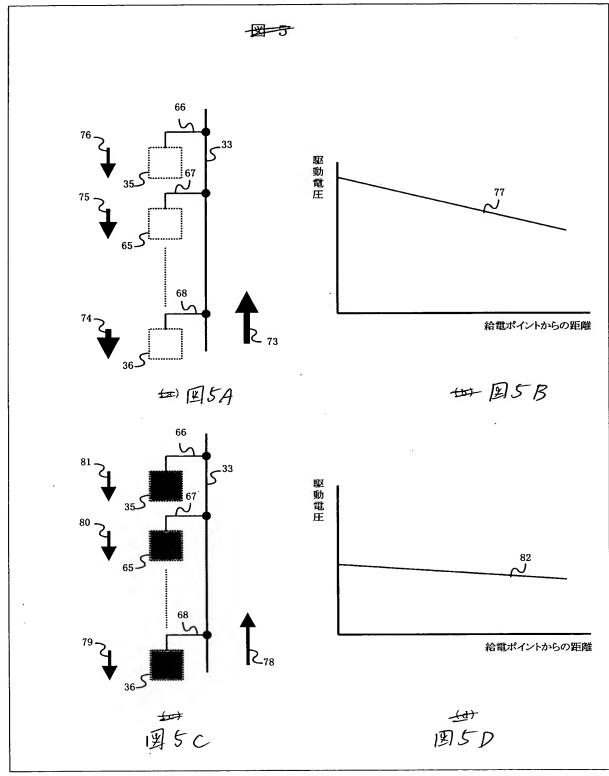
- 9. 枠内に二つ以上の図を入れるときは縦方向に分け、各図面の間を 2 0 mmはなすこと。
- 2. 各図ごとに、図の上側に図1、図2のように連续番号を付し、番号順に配列する。 10. 図面は電子出顧端末のイメージリーダ(200点)で読み込まれるため次の点に配慮する。
 - a. 図面中の文字、符号はできるだけ大きく(12ポイント程度以上)する。
 - b. 断面を示す部分には、ハッチングを施す。強りつぶしてはならない。
 - 11. 図面はA4サイズの用紙に縦長にプリントする。
 - 12. 表、数式も上記に準じて作成する。

電子出願図面用紙 for windows



- 1. 発明の特徴を最も良く表す図を図1とする。
- 2. 各図ごとに、図の上側に図1、図2のように連续番号を付し、番号順に配列する。 10. 図面は電子出頭端末のイメージリーダ(200mi)で読み込まれるため次の点に配慮する。
- 3. 中心線は記入しない。
- 4. 符号(アラピア数字)は引出線を引いて記入する。
- 5. 符号は〇枠で囲まない。また符号はできるだけ大きくする。
- 6. 同一部分が2以上の図にある時は、同一の符号を各図に付ける。
- 7. 図面は上記枠内((税) 2 1 5 mm×(機) 1 4 8 mm) に納める。
- 9. 枠内に二つ以上の図を入れるときは縦方向に分け、各図面の間を20mmはなすこと。
- a. 図面中の文字、符号はできるだけ大きく(12ポイント程度以上)する。
- b. 断面を示す部分には、ハッチングを施す。強りつぶしてはならない。
- 11. 図面はA4サイズの用紙に縦長にプリントする。
- 12. 殺、数式も上記に準じて作成する。

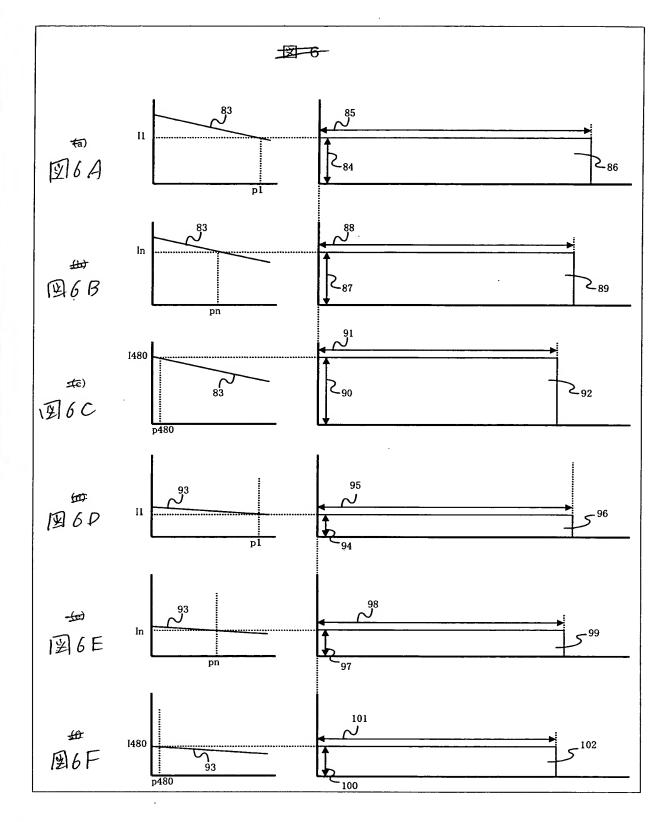
電子出願図面用紙 for windows



- 発明の特徴を最も良く表す図を図1とする。
- 3. 中心線は記入しない。
- 4. 符号(アラビア数字)は引出線を引いて記入する。
- 符号は〇枠で囲まない。また符号はできるだけ大きくする。
- 6. 同一部分が2以上の図にある時は、同一の符号を各図に付ける。
- 7. 図面は上記枠内((縦) 2 1 5 mm×(機) 1 4 8 mm) に納める。
- 8. 図1、図2などの表示は図の上側中央部に入れる。

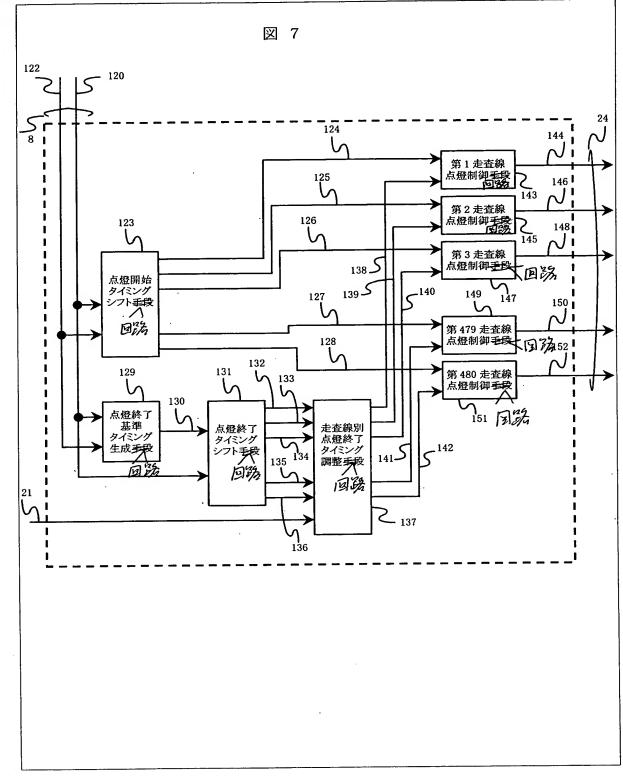
- 9. 枠内に二つ以上の図を入れるときは縦方向に分け、各図面の間を20mmはなすこと。
- 2. 各図ごとに、図の上側に図1、図2のように連続番号を付し、番号順に配列する。 10. 図面は電子出願端末のイメージリーダ(200dpt)で読み込まれるため次の点に配慮する。
 - a. 図面中の文字、符号はできるだけ大きく(12ポイント程度以上)する。
 - b. 断面を示す部分には、ハッチングを施す。途りつぶしてはならない。
 - 11. 図面はA4サイズの用紙に縦長にプリントする。
 - 12. 表、数式も上記に準じて作成する。

for windows



- 1. 発明の特徴を最も良く表す図を図1とする。
- 3. 中心線は記入しない。
- 4. 符号(アラビア数字)は引出線を引いて記入する。
- 5. 符号は〇枠で囲まない。また符号はできるだけ大きくする。
- 6. 同一部分が2以上の図にある時は、同一の符号を各図に付ける。
- 7. 図面は上記枠内((縦) 2 1 5 mm×(模) 1 4 8 mm)に納める。
- 9. 枠内に二つ以上の図を入れるときは縦方向に分け、各図面の間を20mmはなすこと。
- 2. 各図ごとに、図の上側に図1、図2のように連続番号を付し、番号順に配列する。 10. 図面は電子出頭端末のイメージリーダ(200dpt)で読み込まれるため次の点に配慮する。
 - a. 図面中の文字、符号はできるだけ大きく(12ポイント程度以上)する。
 - b. 断面を示す部分には、ハッチングを施す。 **塗**りつぶしてはならない。
 - 11. 図面はA4サイズの用紙に縦長にプリントする。
 - 12. 姿、数式も上記に準じて作成する。

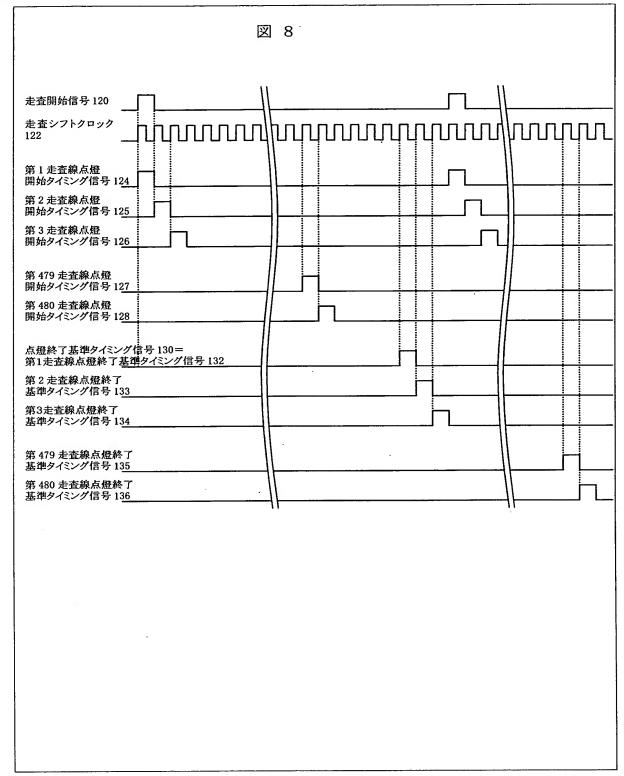
for windows



- 1. 発明の特徴を最も良く表す図を図1とする。
- 3. 中心線は紀入しない。
- 4. 符号(アラピア数字)は引出線を引いて記入する。
- 符号は〇枠で囲まない。また符号はできるだけ大きくする。
- 6. 同一部分が2以上の図にある時は、同一の符号を各図に付ける。
- 7. 図面は上記枠内((版) 2 1 5 mm×(版) 1 4 8 mm) に納める。
- 8. 図1、図2などの表示は図の上側中央部に入れる。

- 9. 枠内に二つ以上の図を入れるときは擬方向に分け、各図面の間を20mmはなすこと。
- 2. 各図ごとに、図の上側に図1、図2のように連続番号を付し、番号順に配列する。 10. 図面は電子出顧端末のイメージリーダ(200向1)で読み込まれるため次の点に配慮する。
 - a. 図面中の文字、符号はできるだけ大きく(12ポイント程度以上)する。
 - b. 断面を示す部分には、ハッチングを施す。途りつぶしてはならない。
 - 11. 図面はA4サイズの用紙に縦長にプリントする。

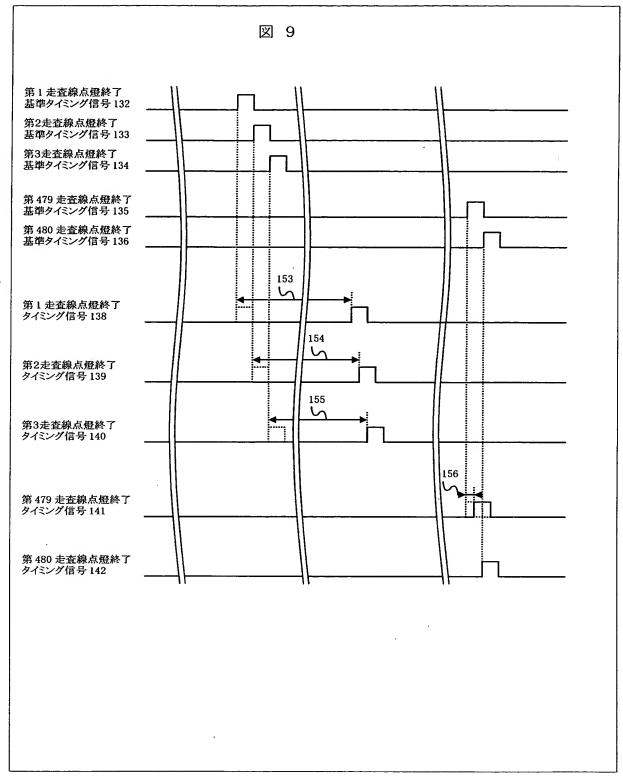
 - 12. 表、数式も上記に準じて作成する。



- 1. 発明の特徴を最も良く表す図を図1とする。
- 3. 中心線は記入しない。
- 4. 符号(アラビア数字)は引出線を引いて記入する。
- 5. 符号は〇枠で囲まない。また符号はできるだけ大きくする。
- 6. 同一部分が2以上の図にある時は、同一の符号を各図に付ける。
- 7. 図面は上記枠内((縦) 2 1 5 mm×(横) 1 4 8 mm) に納める。
- 8. 図1、図2などの表示は図の上側中央部に入れる。

- 9. 枠内に二つ以上の図を入れるときは縦方向に分け、各図面の間を20mmはなすこと。
- 2. 各図ごとに、図の上傾に図1、図2のように連续番号を付し、番号順に配列する。 10. 図面は電子出頭端末のイメージリーダ(200dpt)で放み込まれるため次の点に配慮する。
 - a. 図面中の文字、符号はできるだけ大きく(12ポイント程度以上)する。
 - b. 断面を示す部分には、ハッチングを施す。 強りつぶしてはならない。
 - 11. 図面はA4サイズの用紙に縦長にプリントする。
 - 12. 表、数式も上記に準じて作成する。

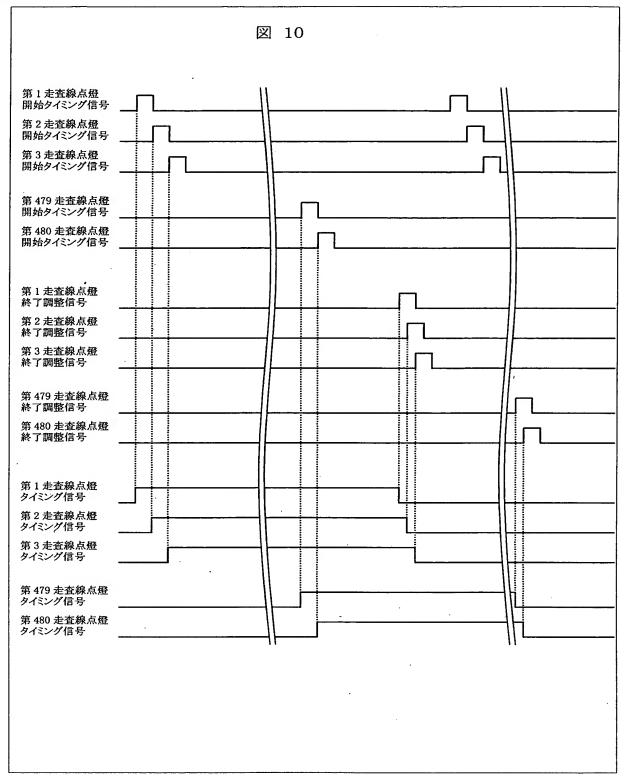
for windows



- 1. 発明の特徴を最も良く表す図を図1とする。
- 3. 中心線は紀入しない。
- 4. 符号(アラビア数字)は引出線を引いて記入する。
- 5. 符号はO枠で囲まない。また符号はできるだけ大きくする。
- 6. 同一部分が2以上の図にある時は、同一の符号を各図に付ける。
- 7. 図面は上記枠内((縦) 2 1 5 mm×(機) 1 4 8 mm) に納める。
- 8. 図1、図2などの表示は図の上側中央部に入れる。

- 9. 枠内に二つ以上の図を入れるときは縦方向に分け、各図面の間を20mmはなすこと。
- 2. 各図ごとに、図の上側に図1、図2のように連続番号を付し、番号順に配列する。 10. 図面は電子出顧端末のイメージリーダ(200dpt)で就み込まれるため次の点に配慮する。
 - a. 図面中の文字、符号はできるだけ大きく(12ポイント程度以上)する。
 - b. 断面を示す部分には、ハッチングを施す。強りつぶしてはならない。
 - 11. 図面はA4サイズの用紙に縦長にプリントする。
 - 12. 表、数式も上記に準じて作成する。

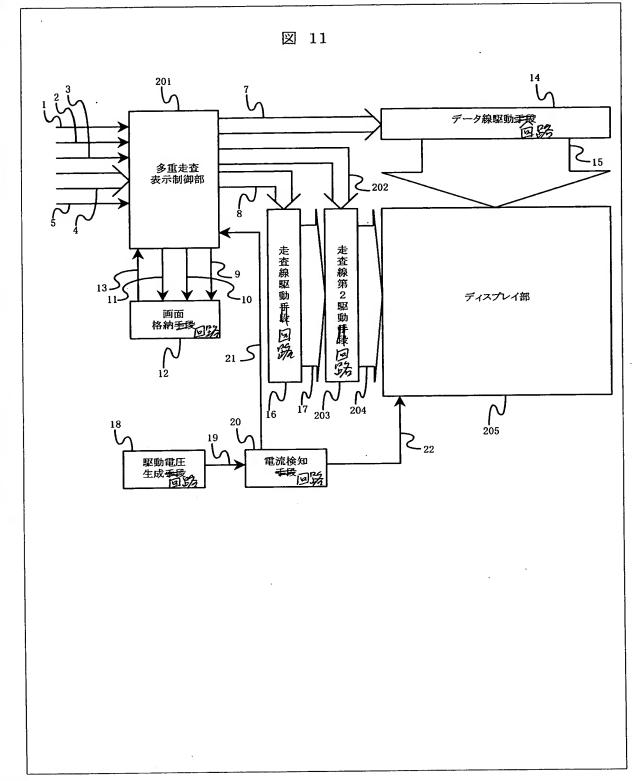
電子出願図面用紙 for windows



- 1. 発明の特徴を最も良く労す図を図1とする。
- 3. 中心線は記入しない。
- 4. 符号(アラビア数字)は引出線を引いて記入する。
- 5. 符号は〇枠で囲まない。また符号はできるだけ大きくする。
- 6. 同一部分が2以上の図にある時は、同一の符号を各図に付ける。
- 7. 図面は上記枠内((税) 2 1 5 mm×(模) 1 4 8 mm) に納める。
- 8. 図1、図2などの表示は図の上側中央部に入れる。

- 9. 枠内に二つ以上の図を入れるときは縦方向に分け、各図面の間を20mmはなすこと。
- 2. 各図ごとに、図の上側に図1、図2のように連続番号を付し、番号順に配列する。 10. 図面は電子出願端末のイメージリーダ(200dpl)で読み込まれるため次の点に配慮する。
 - a. 図面中の文字、符号はできるだけ大きく(12ポイント程度以上)する。
 - b. 断面を示す部分には、ハッチングを施す。強りつぶしてはならない。
 - 11. 図面はA4サイズの用紙に縦長にプリントする。
 - 12. 表、数式も上記に準じて作成する。

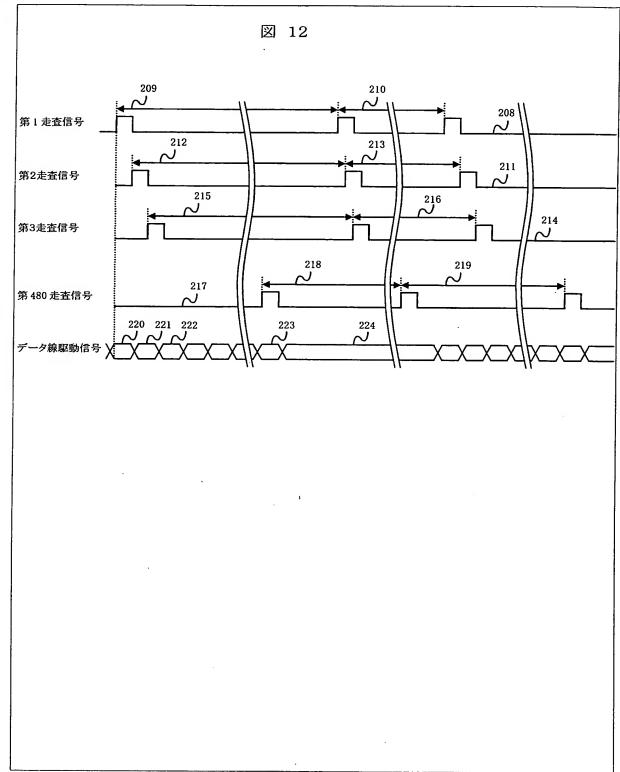
for windows



- 1、発明の特徴を最も良く表す図を図1とする。

- 4. 符号(アラビア数字)は引出線を引いて記入する。
- 5. 符号は〇枠で囲まない。また符号はできるだけ大きくする。
- 6. 同一部分が2以上の図にある時は、同一の符号を各図に付ける。
- 7. 図面は上記枠内((縦) 2 1 5 mm×(横) 1 4 8 mm) に納める。
- 8. 図1、図2などの表示は図の上側中央部に入れる。

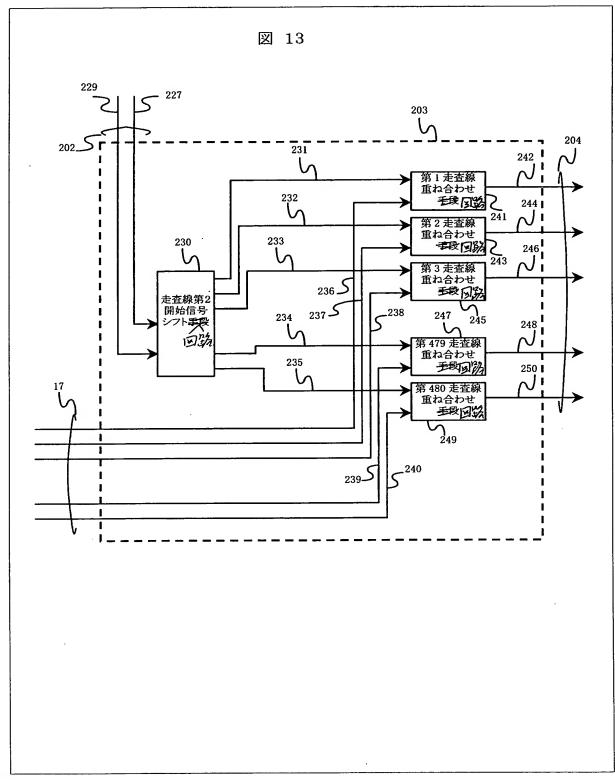
- 9. 枠内に二つ以上の図を入れるときは縦方向に分け、各図面の間を20mmはなすこと。
- 2. 各図ごとに、図の上側に図1、図2のように連续番号を付し、番号順に配列する。 10. 図面は電子出願端末のイメージリーダ(200dpt)で読み込まれるため次の点に配慮する。
 - a. 図面中の文字、符号はできるだけ大きく(12ポイント程度以上)する。
 - b. 断面を示す部分には、ハッチングを施す。 強りつぶしてはならない。
 - 11. 図面はA4サイズの用紙に縦長にプリントする。
 - 12. 表、数式も上記に準じて作成する。



- 1. 発明の特徴を最も良く表す図を図1とする。
- 3. 中心線は記入しない。
- 4. 符号(アラピア数字)は引出線を引いて記入する。
- 5. 符号は〇枠で囲まない。また符号はできるだけ大きくする。
- 6. 同一部分が2以上の図にある時は、同一の符号を各図に付ける。
- 7. 図面は上記枠内((縦) 2 1 5 mm×(模) 1 4 8 mm)に納める。
- 8. 図1、図2などの表示は図の上側中央部に入れる。

- 9. 枠内に二つ以上の図を入れるときは擬方向に分け、各図面の間を20mmはなすこと。
- 2. 各図ごとに、図の上側に図1、図2のように連続番号を付し、番号順に配列する。 10. 図面は電子出顧端末のイメージリーダ(200ml)で読み込まれるため次の点に配信する。
 - a. 図面中の文字、特号はできるだけ大きく(12ポイント程度以上)する。
 - b. 断面を示す部分には、ハッチングを施す。 塗りつぶしてはならない。
 - 11. 図面はA4サイズの用紙に縦長にプリントする。
 - 12. 表、数式も上記に準じて作成する。

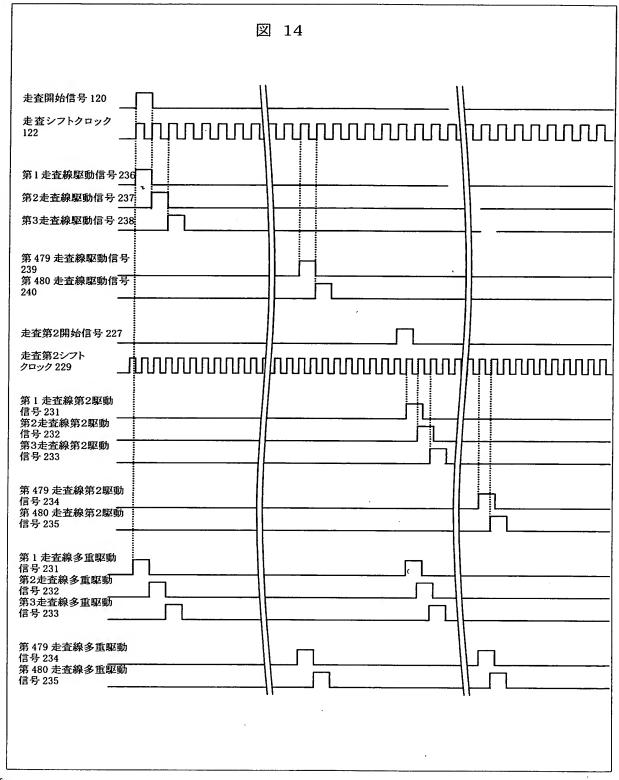
for windows



作成上の注意

- 1. 発明の特徴を最も良く表す図を図1とする。
- 3. 中心線は記入しない。
- 4. 符号(アラビア数字)は引出線を引いて記入する。
- 5. 符号は〇枠で囲まない。また符号はできるだけ大きくする。
- 6. 同一部分が2以上の図にある時は、同一の符号を各図に付ける。
- 7. 図面は上記枠内((縦) 2 1 5 mm×(横) 1 4 8 mm) に納める。
- 8. 図1、図2などの表示は図の上側中央部に入れる。

- 9. 枠内に二つ以上の図を入れるときは縦方向に分け、各図面の間を20mmはなすこと。
- 2. 各図ごとに、図の上側に図1、図2のように連続番号を付し、番号順に配列する。 10. 図面は電子出顧端末のイメージリーダ(2004pt)で読み込まれるため次の点に配慮する。
 - a. 図面中の文字、符号はできるだけ大きく(12ポイント程度以上)する。
 - b. 断面を示す部分には、ハッチングを施す。強りつぶしてはならない。
 - 11. 図面はA4サイズの用紙に縦長にプリントする。
 - 12、 表、数式も上記に準じて作成する。



- 1. 発明の特徴を最も良く表す図を図1とする。
- 2. 各図ごとに、図の上側に図1、図2のように連続番号を付し、番号順に配列する。 10. 図面は電子出顧端末のイメージリーダ(200ml)で読み込まれるため次の点に配慮する。
- 4. 符号(アラピア数字)は引出線を引いて記入する。
- 5. 符号は〇枠で囲まない。また符号はできるだけ大きくする。
- 6. 同一部分が2以上の図にある時は、同一の符号を各図に付ける。
- 7. 図面は上記枠内((縦) 2 1 5 mm×(模) 1 4 8 mm) に納める。
- 8. 図1、図2などの表示は図の上側中央部に入れる。

- 9. 枠内に二つ以上の図を入れるときは縦方向に分け、各図面の間を20mmはなすこと。
- a. 図面中の文字、符号はできるだけ大きく(12ポイント程度以上)する。
- b. 断面を示す部分には、ハッチングを施す。 塗りつぶしてはならない。
- 11. 図面はA4サイズの用紙に縦長にプリントする。
- 12. 表、数式も上記に準じて作成する。